

令和6年度 かながわコミュニティカレッジ講座 修了生インタビュー

「新聞記者に学ぶ文章・写真・編集パワーアップ講座（NPO 活動・地域活動向け）」受講

講座実施団体：一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ

NPO 活動や地域活動にかかわる方を対象にした講座です。元朝日新聞記者から、読み手に伝わる見出しの付け方や文章のコツ、写真の撮り方・扱い方など学びました。課題文を作成して講師とメールでやり取りすることで、書く力、伝える力をつけます。全4回のオンライン講座です（うち1回は会場で実施）。

ご自身の活動のスキルアップを目指して受講された、修了生の藤田紗欧里さんに話を伺いました。

ふじた さおり

藤田 紗欧里さんプロフィール

横浜市在住

個人的につながりのある児童福祉施設から声をかけられ、情報発信（SNS やホームページ等の写真や動画作成）、広報誌の編集・作成を手伝っている。これまでほぼ未経験だったが、役に立ちたいという情熱からサポートを引き受けた。

◆講座との出会いは

きっかけは母が見せてくれた講座チラシです。私の日頃の写真や動画発信の仕事を知っている母でしたから、この講座が目にとまったのだと思います。どちらかというと私は「文章を書くことは苦手」という先入観があり、直にスキルを学べるならばと、思わず応募しました。その頃丁度、知り合いのいる福祉施設から広報誌をつくってほしいというオファーが来ていて、時期がまさにぴったりだったこともあります。また、講師が元新聞記者と書いてあり、そんなプ

ロの方からの直接指導はまたとないチャンスと思いました。



◆講座の様子は

全4回のうち、3回がオンラインで1回が会場でした。オンラインは、事務局からの最初の案内メールもわかりやすく、受講者の皆さんも、なんのZoomトラブルも無くスッと入れました。この安心感は大きかったですね。そして、実はもし講師が厳しい方だったらどうしようかと緊張していたのですが、とても優しい方で、提出した課題を真剣に見てくださいました。文章に関して、3、4回ほど助言や提案をいただき直していると、みるみるうちに文章がブラッシュアップされていき、鍛えていただいた、という感じでした。

3回目の会場授業では、自己紹介を兼ねての課題発表がありました。他の受講者の方々とリアルにお会いできて本当に良かったです。保護猫活動団体の方や、日本語レッスンボランティアをなさっている方など多様な背景の方がいらして、自分の活動をアピールすることでお互いにフレンドリーになれましたし、大変興味深い活動もありました。そして、皆さんのエネルギーに圧

倒され、良い刺激を受けましたね。その日は、実践的に1つの課題に対して一人ひとりが発表もしましたが、考え方や書き方が皆違って、人の物の考え方や捉え方の差異に驚きました。最終回には、仲良くなれたメンバーの方々とこれでお別れかと思うと、なんだか寂しくなってしまったほどです。



◆特に印象深かったことは

オンライン講義の途中で演習問題が出題されることがあり、みんなでチャットに答えを書き込んだ後の講師の早いリアクションは、教えてくださる熱意が伝わってきて嬉しかったです。また、文章を書くときは、固有名詞や数字を使うことによって、その文章がリアルに心に響くということがわかりました。このことは、この講座で私が学んだことの1つの成果です。これから、ある団体の会報誌を発行する予定ですが、学んだことを必ず取り入れ、活かそうと思っています。

◆講座を振り返って

この講座で一番大変だったと振り返って思うのは、講師からの文章の直しを、そのたびに熟考して書き換え、返したことでしょうか。厳しいという感覚はなかったですが、徹底的に教えられ叩き込まれたなと思います。これにより、自分の作文の苦手感覚が薄れました。文を書く手のスピードが違って来た感覚があります。先生もすごく大変なことだと思うのですが、添削では講

師からの的確な答えに納得、そして褒められると、もっと書く意欲が湧きました(笑)。

◆今後の活動

今、フリーランスとして活動しているのですが、もっと色々なところとお仕事させてもらいたいなと思っています。今回の親しくなった講座仲間のご縁はもちろん、現在繋がりのある方々を大切にして人の輪を広げたいですね。そして、その輪からもっとたくさんの団体と知り合い、自分のスキルを活かしてホームページ、ブログなど様々な面で、広報のお役に立ちたいです。お声がかかれば断らないスタンスです。

◆講座を受ける方へのメッセージ

自分の活動や団体を紹介、アピールしたい方々には絶対お勧めです！寄付金やボランティア募集を文章で募るのはとても難しいですが、とにかく受けてみてください。

そして講師の方には本当にありがとうございます一言です！情報を伝えるために、文章の基礎から実際に使える技術まで幅広く学べました。何度も添削して下さった手厚いサポートにはとても感謝しています。そして、最後に修了証がもらえた時には達成感がありますよ。今、自分の部屋に飾ってあります！



2025年令和7年1月17日取材
町田香子 レポーター